

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 041	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
要望問題名 イチゴの観光農園経営における経済性について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 横浜川崎地域での施設イチゴ栽培は近年増加しており、販売は観光農園または直売（JA直売所、庭先販売）が主体となっている。（当所が実施している「イチゴセミナー」の受講者は、平成23年度5名（観光イチゴ狩り園3戸）、平成27年度受講者13名（観光イチゴ狩り園10戸）と増加しており、新たに観光農園や直売を始める意向のある生産者からの相談が年2戸程度ある。） 現在の作物別経済性指標は、市場出荷を主体に整理作成されているが、管内の状況も踏まえ、新たに観光農園主体の経営を始める生産者向けの経済性指標の作成が必要となっている。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部署	企画経営部
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) かながわの農業経営を安定強化するための調査研究			
対応の内容等 イチゴの観光農園経営における経済性については、平成25年度研究課題「イチゴ観光直売経営の指標作成」で取り組み、検討を行いました。地域により単価や集客状況が異なること、経営に関する数値の提供にご協力頂ける経営体が少なかったことにより、指標化までは至らず事例の紹介にとどまっています。 今回ご提案のとおり施設イチゴの観光農園が増加しています。そこで、いくつかの事例調査を元に観光農園経営の前提条件を設定し、その前提に基づく指標の作成を行っていきます。具体的には、ブルーベリーの経済性指標作成と同様の手法で実施する予定です。経営が多様であると想定されますので、できるだけ多くの事例調査をしたいと考えております。調査にあたってはご協力をお願いします。			
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			